

# シラバス

「シラバス」とは、授業で扱う内容（授業の概要）とその授業の到達目標、その授業をとおして獲得できる学士力、授業の進め方、評価の仕方など、授業の全体像を示す文書のことです。履修登録を行うにあたり、科目選択の基準としてシラバスを活用してください。また、履修にあたって、その日の授業の位置づけ、授業の目的、到達目標などを、「シラバス」で繰り返し確認することにより、授業の学習効果を高めることができます。

各授業科目の「シラバス」はWebで公開しています。「シラバス」は新学期の履修登録に先立って提示され、授業期間中をとおして公開されています。

閲覧する場合は、UNITAMAにアクセスしてください。



①履修登録メニューからシラバス照会にカーソルを合わせてクリック

②シラバス検索画面が表示されるので、科目名称(教員氏名等の項目でも可)を入力して「検索」ボタンをクリック

シラバス検索 > 検索結果

検索条件 開講: 2010年度  
科目名称: 英語

開講曜日	科目名	教員氏名	開講区分	学年	開講学期	単位数
月5月6	1400117 英語史(経共通)	青木 敦男	選開授業	2年	2010春学期	2単位
月5月6	5400121 英語史(経共通)	青木 敦男	選開授業	2年	2010秋学期	2単位

③検索したいシラバスにカーソルを合わせてクリック

シラバス検索 > 検索結果 > シラバス照会

戻る 印刷

1 | 画面下へ

授業コード (Code)	科目名 (Class)	開講セメスター (Semester)	曜日・時期 (Day of the Week, Period)	単位数 (Credit)	授業担当者 (Instructor)
149011	英語史(経共通)	春学期	月曜5限 月曜6限	2	青木 敦男

授業概要 (Course Outline)

ゲルマン人であるアングロ・サクソン人が5世紀中頃に英語をブリテン島に持ちこんでから、英語が文献に登場するまでに約1200年の歳月を要した。7世紀の文献に現れたこの頃の英語は古英語と呼ばれ、文法、語彙、スペル、発音の面で現代英語とは著しく異なっており、むしろ今日のドイツ語と類似点が多々見られる。現代英語の祖先である古英語は、英語の母語者にとっても、また英語を母語としない人たちにとっても外国語のように思われるはずである。英語の歴史は、大きく三つの時代に区分出来る。即ち、屈折語尾により文法関係を表した古英語の時代、徐々に屈折語尾が水平化された中英語の時代、そして屈折語尾の消失に伴い語順が確立されるに至った近代英語の時代に区分出来る。講義の前半では、古英語時代の発音、文法等を学ぶ。講義の後半では、実際に古英語で書かれている文献(散文)講読方法を学ぶ。

授業を通して修得できる力 (Competency Goals)

知識・理解 (Knowledge and Understanding)	多文化・異文化に関する知識の理解 (Cross-cultural Understanding)	
	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解 (Culture / Society / Nature)	○
汎用的技能 (Generic Skills)	コミュニケーション・スキル (Reading / Writing / Speaking / Listening)	
	数式的スキル (Mathematics)	
	情報リテラシー (Information Literacy)	
	論理的思考力 (Logical Thinking / Creative Thinking)	
	問題解決力 (Problem Solving)	
態度・志向性	自己管理能力	

④シラバスが表示されます。印刷したい場合は「印刷」ボタンをクリックしてください



シラバス

<https://unitama.tamagawa.ac.jp/>